時 期	4月~11月	時間	午前 9:00~11:30 午後 13:30~16:00
難易度	***	対 象	どなたでも



磯釣り(BF)



<活動の概要>

長さ約2~3mの「のべざお」に自分で仕掛けやえさをつけて釣りを楽しみます。安全に気を付け、海を汚したり、他の人々の迷惑になったりしないように心がけながら、釣りの楽しさを味わってください。

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

活動のねらい

- 磯釣りの楽しさを味わいながら、基本やマナーを身につける。
- 釣った魚は海に放ち、生命の尊さについて考える。また、環境の問題についても意識を高める。
- 活動エリアや定員などのルールを守り、安全に対する意識を高める。

準備物

自然の家で準備しているもの	個数	置場所	団体・個人で準備するもの	
釣りざお (竹ざお)	90本	【ピロティ】	活動に適した服装	
メゴチばさみ	10本	【事務室】	タオル	
プライヤー (糸はずし)	10本	【事務室】	帽子	
バケツ	15個	【ピロティ】	ぬれてもよい運動靴	
たも	5本	【ピロティ】		
※釣りえさ(390円・約8名分)	必要数	【食堂事務室】		
※釣りセット(300円)	必要数	【食堂事務室】		
ライフジャケット(小・大)	300着	【ライフジャケット置場】		
無線機	l個	【事務室】		



活動内容(手順)

所要時間	項目		内容	備考
(目安)				
活動前	準備	0	無線をお渡しするので事務室まで来てください。	
		0	着替えは原則「宿泊棟」でお願いします。退所日の場合は「更衣	
			室」を割振りいたします。	
		0	突風・雷・暴風や波浪の警報、濃霧などにより、中止することもあ	
			ります。	
15~20	活動方法	0	道具の準備をします。	
分	の説明と	0	釣りの活動範囲を全員で確認します。	
	安全指導		ライフジャケットの着用を必ずお願いします。	
		0	安全管理(ライフジャケット、針)や道具の使い方について確認を	
			します。	
40~60	活動	0	餌を針につけ、釣りを始めます。	
分			※資料 I 「トビーの磯釣り教室」を参考にしてください。	
		0	適度に休憩を取ってください。	
		0	緊急時の時は、無線で事務室に連絡してください。	
15~30	上陸	0	活動が終了したら、人数確認、体調不良者の確認	〇使用した場所に
分	片付け	0	道具を元の場所に戻してください。	ゴミが落ちていな
	振り返り	0	ライフジャケットは、ファスナー・バックルをしっかりと締めてハンガ	いか確認してくだ
			ーにかけてください。	さい。
		0	水気をふき取り、砂を払い落としてから館内に入ってください。	〇活動が終了しま
				したら、無線機で
				事務室にお知らせ
				ください。

ふりかえりの視点

- どんな海の生き物を釣ることができましたか例) 釣った生き物の特徴、釣れたとき・釣れなかったときの違い
- 上から海や生き物を見てどうだったか例) 釣れそうな場所の特徴、透き通る海の綺麗さ、活動エリア付近の状況 (SDGsの視点)
- 活動を通して感じたことや意識したこと例) 釣りをする楽しさ、上手に釣るコツ、仲間への声掛けやアドバイス

指導上の留意点

- 裸足・ビーチサンダルでの活動は大変危険ですのでやめてください。
- 環境保護の面から、えさの持込みは禁止しています。
- 釣りえさはオキアミです。事前に食数・クラフト等注文書にて注文し、当日、食堂事務室で受け取ってください。
- 釣りセットとは道糸、ウキ、ガン玉、ハリス止、針がセットになったものです。
- 使用後の釣糸、釣針、パック、ビニール袋は、事務室で処理します。活動後に掃除を
- 周囲の人に釣針が引っ掛からないように十分に間隔をとってください。
- 投げ釣りは、安全上から禁止しています。
- 釣った魚は必ず海に放ち、釣り場には残さないでください。

活動エリア・海の活動物品保管場所

トビーのライフジャケット講座



参考資料I トビーの磯釣り教室

さお ようい

1. 竿の用意をする。

① ピロティにある竹竿を使います。

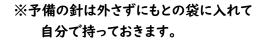


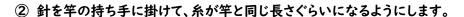
- ※そのまま糸が結べて、ずれたりしなければ 糸を取り除く必要はありません。

ちょうせつ

2. 糸の長さを調節する。

① 絡まらないようにして、つりセットの糸を外します。







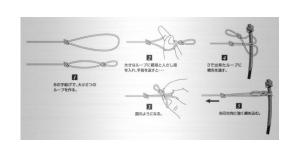


- 3. 竿と糸を結ぶ。
- ① 張りに注意して竿の先に 糸を結びます。 ※活動終了後は糸を切るので, まる結びで構いません。
- ② 結べたら、抜けたり、外れたりしないか 軽く引っ張って点検します。









- 4. 浮きの下の長さを調節する。
- ① 浮きの下が短い。

 \downarrow

海面近くを泳いでいる魚を 釣ることができます。





② 浮きの下が長い。

 \downarrow

深いところや岩の間などにいる魚を釣ることができます。

※浮を動かすときは、浮きを外してからゴムを移動させないと、 ゴムが破損してしまう場合があります。

5. 持ち方

- ① 利き手で竿尻(竿の太いところ)を持つ。
- ② もう片方の手でおもりを持つ。
- ※移動するときやつりの途中に 針で怪我をしたり、他の人の糸と絡まったり しないように、安全に持ちましょう。



6. えさのつけ方

- ① オキアミを半分にちぎって針につける。
 - ※一匹がけでも構いませんが小さい魚は釣れません。
 - ※広い場所でエサを付けてから桟橋に行きましょう。





7. つり方

- ② 周りに人がいないのを確かめて アンダースローでゆっくりと投げ入れます。





③ ウキが立つのを待ち,魚を釣る。 ウキが沈んだり、ウキに動きがあったりしたら、ひと呼吸おいて竿を立て, 魚を針がかりさせます。

8. 魚がつれたとき

① 危険な魚ではないかを確認します。(特にアイゴ、ゴンズイ、ハオコゼなど)





② 針を外す。

※魚は素手で触ると怪我をする可能性があります。なるべく素手で触れないようにプライヤーを使って針を外します。
針を外すときには、メゴチがせるを使って角

針を外すときには、メゴチバサミを使って魚をつかみます。

- ※針がなくなったり壊れたりしてしまったら、予備の針をセットします。
- ③ つった魚は観察後、すみやかに海へ逃がします。 バケツに入れっぱなしにすると、酸欠になります。



9. 活動終了後

- ① 活動場所のゴミを拾います。糸や針が落ちていないか、確かめましょう。
- ② 竿は針と糸を外して、ピロティへ返却します。

●カサゴ

岩の上や隙間にちょこんと乗っている姿が見られます。 自然の家釣りプログラムのメインターゲットです。



●キュウセン…写真はオス

若狭湾のスノーケリングで皆さんが最初に出会う魚がこれです。メスからオスに性転換する魚です。オスは 青ベラと呼ばれます。メスはオスの青ベラに対しその 色から赤ベラと呼ばれます。



●メジナ

岩の周りで群れています。あまり大きいのは 見かけませんが、グレと呼ばれ、サイズの大きいのは 釣りでも人気があります。



●アジ

サイズは小さいですが群れで泳いでいるので、 一匹かかると連続で釣れることもある魚です。



●クサフグ

えさをひとり占めしてしまう食いしん坊です。 フグがいると、他の魚が釣れにくいかも…



●危険な魚

胸びれ、背びれ等に毒のある鋭いとげがあります。 吊り上げても絶対に素手では 触らずに、なるべく早く海へ返してください。



アイゴ



ゴンズイ



ハオコゼ